

基礎工事

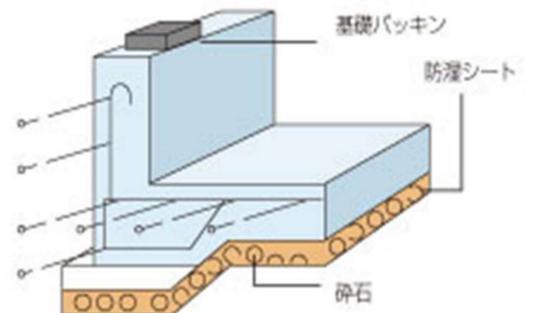
一般の布基礎より堅牢で横滑りを抑える「ベタ基礎」

住宅を支える重要な工事が基礎工事となりますが、こちらにも様々な種類の基礎があります。

現在の住宅基礎工事は、阪神淡路大震災以降、日々進歩しており、しっかりとした施工方法で基礎工事を行えば、必ずよい基礎が出来上がると当社は考えております。

当社で採用している**大型ベタ基礎**とは基礎の立ち上がりだけでなく底板一面が鉄筋コンクリートになっている基礎です。ベタ基礎は建物全体を面で支えるので不同沈下が起こりにくい。また地面をコンクリートで覆うので床下の湿度が安定する、地面から上がってくる湿気を防ぎ、シロアリの侵入も防いでくれるなどのメリットがあります。

一般の布基礎より堅牢で横滑りを抑える「ベタ基礎」。



基礎

基礎の中は120mm【建築基準法】

当社採用 大型基礎

基礎の中は150mm【75年～90年耐久力】

※風や水害から鉄筋を守るため基礎の厚みを30mm増

コーナーハンチにより基礎構造の強化について

当社では基礎の中を150mmにした大型ベタ基礎に加えコーナーハンチによる基礎構造の強化も行っています。

ハンチとは、コンクリート部材の端において、圧縮応力の局部的増加を緩和するために設ける角形状のものをいいます。

一般に基礎のコーナー部分は、不均等荷重や地震時に負担が集中しやすい箇所であるため、この部分をハンチ形状とすることで強化し、外力をバランス良く分散させ、地盤に力を逃がす重要な役割を果たします。

力が集中しやすいコーナー部分をパワーアップ!

コーナーハンチを付けた基礎

コーナーハンチ

基礎の高さについて

外壁側の床面からの雨の打ち返しや、シロアリがのぼりにくい高さを考慮した結果、建築基準法では木造の基礎の高さ（内部ベース天場よりフローア天場）は45cmでよいとされています。

しかし、当社の基礎の高さは56.5cmの設定となっております。基礎の高さは、強度に影響しているのはもちろんのこと、床下のメンテナンスの問題なども考慮した結果、建築基準法よりも11.5cm高く設定いたしました。

